

2002年度 【平成14年度】

■組合員	14万8054人
■供給高	225億6861万円
■出資金	39億4131万円
■職員数	336人

4/	共同購入Zパックの導入
5/13	地域別総代会議
5/15	ISO認証取得プロジェクト立ち上げ
6/10	共同購入カタログの回収スタート 第27回通常総代会
6/23	6・23 平和行進
8/1	虹のホームステイ（～4）
8/4	ヒロシマ行動
8/7	ナガサキ行動
8/21	九州地連組合員交流集会（～22）
10/	カタログ改革
11/	共同購入注文書を両面に改善
12/2	ISO14001 運用開始
12/18	6号店「コープ寒川」オープン
1/6	ユニセフ・お年玉募金（～2/28、1665万 3958円）
3/21	7号店「コープあわせ」オープン
3/27	ユニセフ学習会・募金贈呈式
3/27	虹のホームステイ長野編（～28）
3/31	ISO14001 取得 班活動費を班への一括支給からポイント制に よる支給へ変更 「ゆんたくネット活動費」の制定

■共同購入注文書を両面に

「もっと利用しやすいカタログ」「もっと利用したい商品」をめざして、あっぶるカタログと注文書のリニューアル、野菜や果物の鮮度アップの改善を実施しました。

あっぶるカタログでは少量パックのお魚や大根半分など、購入しやすい量目での企画が始まりました。また、全国有名店の商品や離乳食、郷土の味、お弁当がも購入できるようになりました。

共同購入注文書は両面印刷になり、文字が大きくなり読みやすくなりました。



■6号店コープ寒川オープン

コープ寒川は12月にオープンしました。3カ月という短い期間で既存の建物を増床。さらに駐車場も整備し、オープン当日は見事に生まれ変わり、地域の組合員さんをお迎えすることができました。



■7号店コープあわせオープン

コープあわせは3月にオープンしました。店舗職員が、直接地元の組合員さんに聞き取りを行い、トイレの増設や明るいイメージの内装への変更、また棚の高さの変更など、声に応えたお店づくりを行いました。



地域の組合員と一緒にテープカット。

■沖縄市と災害時協定締結

大規模な災害が発生した際に、復旧作業や生活物資の供給を円滑に進めることを目的に、沖縄市・沖縄市建設業者会・コープおきなわの三者で「災害時応援協定」を締結しました。



■ISO14001取得

全事業所でISO14001(*)の認証を取得しました。この仕組みの中で、環境負荷を低減する取り組みを、計画的に、継続的に進めます。

*ISO14001：環境マネジメントシステム。
環境の取り組みに関する国際基準。



■班活動費からポイント制へ移行

班活動費を班への一括支給から、ポイント制による支給へ変更しました。班活動費の見直しにあわせて、店舗・個配組合員も対象にした「ゆんたくネット活動費」も新設されました。

2003年度 【平成15年度】

■組合員	16万3856人
■供給高	239億1687万円
■出資金	40億5911万円
■職員数	323人

- 4/ インターネット注文（くらぶeフレンズ）スタート
- 4/ 機関誌の名称を「With こーぷ」から「ういずこーぷ」へ変更
- 4/ 新人事制度を導入
- 4/10 共同購入で週5日配達の実施
- 4/10 店舗でのポイント制度導入
- 6/9 第28回通常総代会
- 6/9 加入時出資金を3口3000円から1口1000円へ変更
- 6/ 「在沖米海兵隊による女性暴行致傷事件に対する抗議と要請」文を送る
- 8/ 虹のホームステイ沖縄編
- 9/11 台風14号が宮古島を直撃、災害募金に取り組む（126万9785円）
- 10/ あっぴるカタログリニューアル
- 12/4 8号店「あっぴるタウン」オープン
- 1/5 ユニセフお年玉募金（356万8917円）
- 2/7 第1回沖縄県協同組合まつりに出展（～8）
- 2/13 鹿児島・知覧～歴史と戦跡を学ぶ旅（～15）
- 2/28 産直交流会「生産者とふれあい交流会」開催（～29）
- 3/26 虹のホームステイ長野編（～29）
- 3/31 セカンドキャリア支援制度実施

■インターネット注文 くらぶeフレンズスタート

「コープの商品をインターネットで買えたらいいな！」そんな組合員の声にお応えして、4月よりインターネット受注システム「eフレンズ」をスタートさせました。注文金額や過去4週間分の購入履歴が、画面上で集計され、確認できるようになりました。



■共同購入週5日配達実施

個人配達が急速に増えて（前年度比4割増の伸び）配達件数が急増。1カ所に数名分の商品を届ける班配達と違い、個人配達の場合は一戸ごとへ配達するので、比例的に配達件数が増えます。そのため、週4日配達から週5日配達に切り替えられました。



■店舗ポイント制度導入

4月から導入した「わくわくポイントカード」(10月からは組合員証)は、買い物の楽しみが増え、生協加入や来店のきっかけにもなると、喜ばれました。また、マイバッグ持参者への特典は、従来の「スタンプ方式」から「わくわくポイントカード」へのポイント加算に変更されました。



■11億円の赤字に

この年、損益構造を改善させるための様々な取り組みを行ってきました。一方、2002年12月から2003年12月の間で3店舗を連続出店するなど投資も増えたため、事業損益で8億円の赤字となりました。職員の希望退職を募る「セカンドキャリア支援制度」を導入。正規職員54人が退職し、特別損失を含めて11億円の赤字となりました。

■8号店あっぴるタウンオープン

初めての複合型店舗「あっぴるタウン」を12月にオープンさせました。コープあっぴるタウンは水産売場を強化した店舗とし、地域の要望に応じて深夜12時までの営業としました。出店準備にあたってはファンクラブを結成、200人以上の方が会員となりました。11月には壁面への手形押しを実施し、1000人以上の参加でにぎわいました。



2004年度 【平成16年度】

■組合員	17万2827人
■供給高	242億3695万円
■出資金	41億9003万円
■職員数	275人

- 4/4 ピースフルフェスタ開催（合唱組曲「ぞうれっしゃがやってきた」）
- 4/5 共同購入納品請求書（お届け明細書）がリニューアル、A4 サイズになる
- 4/9 コープ葬祭スタート
- 5/16 普天間基地包囲行動
- 5/ 無薬飼料やんばる若どり「産直やんばるっこ」販売スタート
- 5/31 平和募金に取り組む（～7/2、117万9847円）
- 6/7 第29回通常総代会
- 6/16 産直やんばるっこ生産者交流会
- 7/26 第30回臨時総代会
- 8/2 個配・ステーションでポイント制導入
- 10/ 新潟県中越地震義援募金に取り組む（～11/30、364万8503円）
- 11/15 ラジオ番組「デイリーあっぶる」（FMコザ）スタート（～3/ ）
- 1/ ユニセフお年玉募金（～1/31）
- 1/17 平和を願うパネル展開催（平和委員会）、辺野古へのヘリ基地移設反対運動支援募金に取り組む（～2/16、2万2143円）
- 2/22 個人情報保護基本方針を理事会決定
- 2/26 あっぶるまつり
店舗での受け取りステーション始める

■ピースフルフェスタ開催

沖縄コンベンションセンターにて、組合員の企画・参加による「ピースフルフェスタ」を開催しました。歌を通じて平和を考えてみよう、組合員と子どもたちが合唱組曲「ぞうれっしゃがやってきた」に取り組みました。



■コープ葬祭スタート

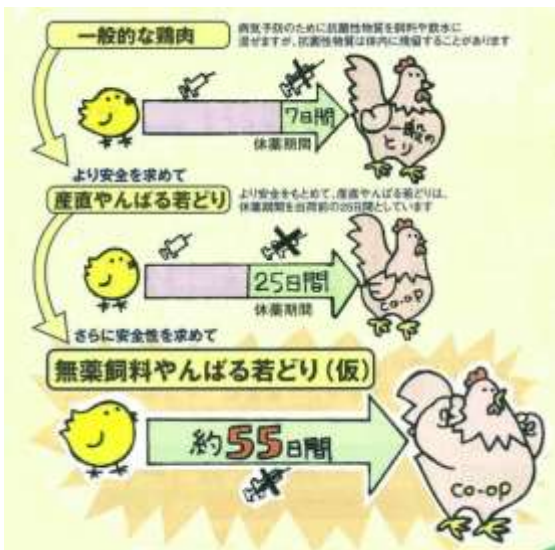
提携事業として葬祭事業「コープ葬祭」を4月よりスタートしました。コープ独自の内容や料金が評価され、初年度で60件を越える葬儀をお手伝いすることができました。



生活事業委員会スマイルで行われた模擬葬祭の様子

■産直やんばるコッコ開発

もっと安全で安心して食べられるチキンを目指して2002年11月に、出荷までの全飼料および飲水に抗菌性物質（抗生物質および合成抗菌剤の総称）を添加せずに、試験的に飼育した「無薬飼料」やんばる若どり」を企画したところ、大きな反響を呼びました。たくさんの応援を受け、2004年5月から定期供給がはじまりました。



■あっぷるまつり

コープおきなわ29周年を記念して、2月26日沖縄こどもの国（沖縄市）で「あっぷるまつり」を開催しました。コープ商品でおなじみのメーカーさんが出店、食べておいしい新鮮な野菜などの県内産産直品を販売しました。



県内外から農畜産物の生産者にお越しいただきました

■商品を中心に くらしに役立つ事業を推進

「八穀マーガリンサンド」の取り組みでは、1人の組合員の声をきっかけに、その願いをみんなで受けとめ、組合員と職員、そしてメーカーさんが一緒になって企画し利用を広げることができました。また、共同購入だけでなく店舗も一緒になって普及に取り組み、さらに大きな広がりを作ることができました。

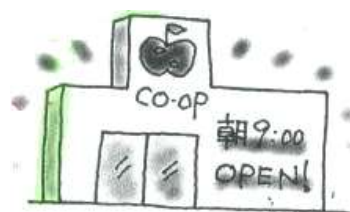
2005年度 【平成17年度】

■組合員	18万1703人
■供給高	237億9865万円
■出資金	43億0150万円
■職員数	271人

- 6/6 コープ牧港の開店時間を朝9時に変更
- 6/20 第31回通常総代会
- 6/23 6・23 平和行進
- 6/27 「コープおきなわの温暖化防止自主行動計画」策定
- 7/14 厚生労働大臣より「障害者雇用優良事業所表彰」
- 9/ 配達トレーナー制度を導入
- 9/12 コープこくば、コープ寒川が9時開店に
- 10/ 離島組合員もパン（全品）とくらしと生協商品の注文ができるようになる
- 10/3 コープ首里、コープ美里、コープ山内、コープあっぷるタウンが9時開店に
- 10/14 沖縄労働局長賞「ファミリーフレンドリー企業」受賞
- 10/29 コープベジタブルセンター開所
- 11/ 離島運賃の手数料アップを実施
- 1/ お年玉募金（ユニセフ、NGO 沖縄アジアチャイルドサポート、日本国際飢餓対策機構、おきなわCAPセンター）（～2/9、284万2497円）
- 2/7 厚生労働大臣、農林水産大臣へ「米国産牛肉の輸入停止問題に関する要望書」を提出
- 3/1 コープおきなわ創立30周年
- 3/ OCR注文書メニュー欄の改善
- 3/ 北大東島への商品配送開始
福祉作業所との取り組みが始まる

■店舗開店時間を朝9時に変更

「お店を早く開けてよ～」の声にお応えして、コープ首里、コープこくば、コープ美里、コープ山内、コープ牧港、コープ寒川、コープあっぷるタウンの7店舗では営業時間の見直しを行い、9月12日から順次、開店を朝9時に変更しました。朝の買い物しやすくなったと好評でした。



■「ファミリーフレンドリー企業 沖縄労働局長賞」受賞

職員に対して、仕事と育児・介護とが両立できるようなさまざまな制度を導入していることで、厚生労働省より「ファミリーフレンドリー企業表彰 沖縄労働局長賞」を受賞しました。

■コープベジタブルセンター開所

10月29日、コープおきなわ物流センター内に「コープベジタブルセンター」を開所しました。農産物の品質管理やパック加工作業を一カ所に集約し、野菜や果物の商品チェック機能をさらに強化しました。



■福祉作業所との取り組み開始

コープおきなわと福祉作業所との共同による「しめ縄」の開発を始めました。県内では恩納村の知的障がい者授産施設「安住の郷」が2001年度からしめ縄づくりを行っていますが、他の福祉作業所でも始めることになり、その開発と販売にコープおきなわも関わることになりました。原料の稲わらは、JAおきなわの協力を得て1トンを確保。「安住の郷」の指導を受けながら制作し、年の瀬にはコープのお店に並びました。

また、県内福祉施設と共同開発した商品（とうみつせっけん等）のPRを兼ねて、「障がい者週間フェア」を2月に開催しました。

■創立30周年記念事業

30周年記念事業として、県民を対象にシンボルマークを公募しました。合計327点の応募があり、「もっと笑顔に もっと元気に」のコピーとイラストを組合わせてシンボルとして決め、30周年事業のスタートとしました。

また、コープ商品人気アンケートでは2109件の応募により、30品目が選定されました



2006年度 【平成18年度】

■組合員	18万9516人
■供給高	237億8547万円
■出資金	44億0692万円
■職員数	271人

- 4/1 戦後60年平和企画「ピースフルフェスタ」開催
 - 4/22 創立30周年記念コンサート「音祭琉球 vol.1 Music in the Box」開催
 - 5/29 「食品に残留する農薬等に関するポジティブリスト制度」スタート、コープおきなわでも原料や製品の残留農薬の管理を一層強化
 - 5/15 地域別総代会議開催（～22）
 - 6/ 「平和活動募金」、「ジャワ島中部地震ユニセフ緊急募金」に取り組む
 - 6/19 第32回通常総代会開催
 - 6/22 「米国産牛肉輸入問題に関する要望書」を提出
 - 6/23 「6・23 平和行進ファミリーピースウォーク」
 - 9/27 福祉講演会「介護保険わたしの利用術」開催（コープくらし助け合いの会）
 - 10/2 コールドチェーンシステムの本格稼働
 - 11/11 コープおきなわ・（財）沖縄県セルフセンター共催で「コープふれあい福祉フェア」を開催
 - 12/6 沖縄県生協連を中心に「消費者ネットワーク沖縄」設立、理事を派遣
 - 1/8 「お年玉募金」（310万1126円）
 - 2/ コープ葬祭「安心登録制度」をスタート
 - 3/5 コープあわせ閉店
 - 3/19 那覇市と「災害時における物資の供給に関する協定」を締結
 - 3/24 「出会い・味わい・ふれあい広場～グループ交流会・生産者交流会・商品交流会～」開催
-

■ピースフルフェスタ

戦後60年の節目にあたり、コープおきなわでは「二度と家族を戦場に送ることのない平和なくらしをつくるため、誰でも参加でき、平和について考える」さまざまな平和企画が1年にわたり取り組まれました。その総まとめとして、4月1日、コープおきなわ浦添センターで「ピースフルフェスタ」を開催。会場は、講演、朗読、展示、戦時食、キッズコーナーの5つのブースに分けられ、子どもから大人までたくさんの参加者が見て、聞いて、味わいながら、戦争や平和について考える場となりました。



■ポジティブリスト制度と生協の取り組み

5月29日、「ポジティブリスト制度」がスタートしました。それまで日本の法律では、農薬等は残留基準が設定されているものしか規制できず、残留基準のないものは野放しになっていました。また、日本では残留基準のない農薬等（農薬や動物用医薬品、飼料添加剤のこと）を含む食品の輸入も増加し、安全性評価の点から残留農薬制度の見直しが求められていました。制度がスタートしたことで、国内で流通する食品はこれまでより厳しく、農薬等の残留を規制され、より安全を確保することができるようになりました。コープおき

なわでは、機関誌『ういずこーぷ』でポジティブリスト制度について情報提供を行うとともに、原料や製品の残留農薬の管理も一層強化しました。

■コープ葬祭の安心登録制度

コープ葬祭は9月より「安心登録制度」をスタートしました。実際の葬儀にかかる金額や内容について具体的に知る機会が少なく、漠然とした不安を持つ組合員が多いことから、定期的に学習会や葬儀会場の見学会を行うなど、組合員の不安や疑問を解消しながら、自身や家族の希望する葬儀のプランが登録できるようになりました。



■コープふれあい福祉フェア

県内の授産施設や共同作業所の作品を多くの皆さんに知ってもらい、利用してもらおうと、11月11日、コープあわせで福祉フェアを開催。県内8つの福祉施設や作業所の皆さんが集まり、パン、お菓子、石けん、木工品、アクセサリーなどが展示即売された他、しめ縄作成の実演やお楽しみ抽選会もあり、多くの人でにぎわいました。

■コープあわせ閉店

2003年3月21日の開店以来、赤字続きだった「コープあわせ」は、黒字化の見通しが立たず、閉店基準に基づき、3月に閉店しました。他生協の事例も参考に閉店を進めましたが、商品不足などで来店された組合員さんにご迷惑を掛けてしまいました。